

がんを早期発見するために!

がんは、日本人の死亡原因の第1位で、2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。一方で、早期発見・早期治療すれば完治する確率が高い病気でもあります。市では、多くの人にがん検診の受診機会を設けるため、平成28年度から以下のようにがん検診の内容を変更しました。皆さんの積極的な受診をお願いします。

検診の詳細な内容は、4月15日の嘱託員便で配布される「平戸市健(検)診日程表」をご確認ください

■お問い合わせ 平戸市保健センター ☎57-0977



がん検診がより受診しやすく

今年度からの新たな取り組み

- 婦人がん検診は奇数・偶数年齢に関わらず、前年度に検診を受けていない人が対象になります。(奇数年齢でも受診できます)
 - 65歳以上の方は「胃がん」「肺がん」「大腸がん」「胃がんリスク」検診が無料になります。
 - 40歳代の胃がん検診は「胃部エックス線検査」になります。
- ※他にも、がん検診の日数を増やしたり、日曜日の検診を実施するようにしています。



がんが死因全体の1位

平戸市の死因(平成25年)

死亡原因	死亡者数
がん	151
心疾患	99
脳血管疾患	65
肺炎	76
その他	168
計	559

がんで死亡する人口対率

	人口10万対率
平戸市	458.3
長崎県	354.1
全国	290.3

※人口10万対率：人口を10万人としたとき、何人が当てはまるかを示しています。

- 平戸市は、全国や長崎県と比べてもがんが原因で亡くなる人の割合が多く、全国と比べ約1.5倍、長崎県と比べると約1.2倍がんで亡くなる人が多くなっています。

平戸市の受診率

平戸市のがん検診受診率とがん発見者数

がん検診	受診率(平成25年度)			がん発見者数 (平成20~26年度合計)
	平戸市	長崎県	県(21市町)での順位	
胃がん	10.9	13.4	15位	14
肺がん	17.9	23.5	19位	20
大腸がん	15.1	19.1	18位	16
子宮がん	14.2	31.2	21位	4
乳がん	17.6	24.9	20位	17

- 受診率の順位は、全てのがん検診で県内で下位の状況です。特に子宮がんは、県の受診率と約2倍以上の差があり最下位です。
- 各種がん検診での受診率は1~2割程度ですが、受診率が低いにも関わらず、検診により毎年がんが見つかります。

4月2日~8日は「発達障害啓発週間」です!

発達障害とは発達のつまずきといわれています。生まれつき発達のしかたに凹凸がある障がいです。生活上で本人が困ってしまう状況であると考えられていますが、原因は未だはっきりとわかっていません。

発達障害は見た目ではわからないため、日常生活や学習の面で困難を抱えていても障がいとは気づかれにくく、必要なサポートを受けることができずに困っていることがあります。

■お問い合わせ 福祉課障害福祉班 ☎内線2566



発達障害

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に言葉の発達の遅れは無い
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、興味・関心の偏り
- 不器用(言語発達に比べて)

自閉症

- 言葉の発達の遅れ
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、こだわり

知的障害

学習障害(LD)

- 基本的に全般的な知的発達に遅れは無い
- 「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」といった能力のうち、特定のものが極端に苦手
- 自閉症やADHDと併発することも多い

注意欠如・多動性障害(ADHD)

- 注意力が低い(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する(考えるより先に動く)

まずは相談しましょう

発達障害は、病気とは異なり、生まれつきの障がいです。叱ったり諭すことで変化するものではありません。無理に正そうとすると、その子にとっては大きなストレスになります。また、無理に正そうとして叱ることが多くなると、自尊心が低い、強い劣等感を持つなどマイナスの影響が生じてしまいがちです。そうならないためにも、その子の特性に合わせた関わり方をすることで、日常の困り感がやわらぎ、その子の発達を促す可能性があります。

発達障害かな?と思ったり、発達で気になること、関わり方についての心配・不安などは、家庭の中だけで抱え込まず、関係機関にご相談ください。



相談機関

- 平戸市療育支援センター「あったかさん21」 Tel 21-3080
- 平戸市保健センター Tel 57-0977
- 県北保健所地域保健課 Tel 57-3933
- 福祉課障害福祉班 内線 2566